Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2023/01/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.01	0.01
JPY/THB	0.2560	-0.0013
USD/JPY	128.90	0.78
EUR/THB	35.64	0.04
EUR/USD	1.0794	0.0006
USD/CNH	6.769	-0.001
SGD/THB	24.99	0.00
AUD/THB	22.91	-0.13
USD/INR	81.25	-0.52
USD Index	102.36	-0.03

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.924	-0.015
10Y (THB)	2.447	-0.014
5Y (USD)	3.439	-0.182
10Y (USD)	3.370	-0.178

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,907.0	-2.9
WTI (Oil)	79.48	-0.7
Copper	9,323.5	36.5

Stock

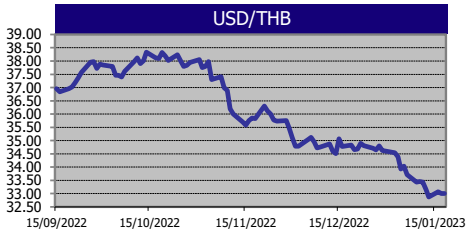
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,685.44	4.40
NIKKEI (JP)	26,791.12	652.44
DOW (US)	33,296.96	-613.89
S&P500 (US)	3,928.86	-62.11
SHCOMP (CN	3,224.41	0.16
DAX(GER)	15,181.80	-5.27

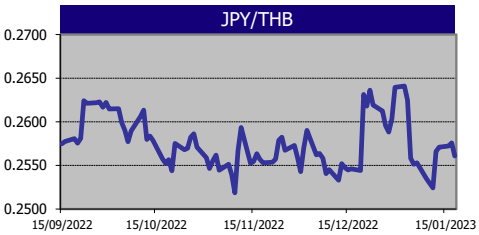
Fund Flow (Overseas Investors)

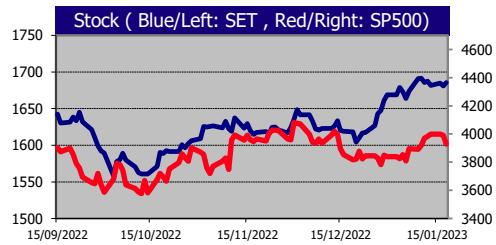
	Close	CHANGE
Stock net flow	1,516	708.0
Bond net flow	991	9317.5

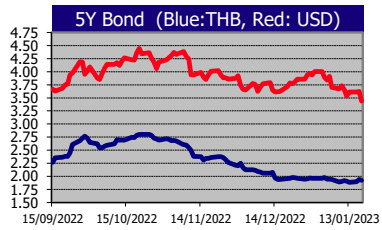
*compared with previous day

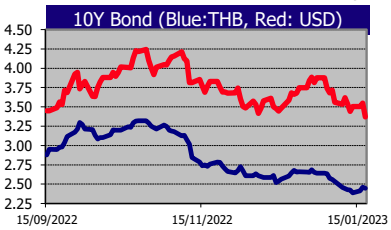
(Source: Bloomberg)

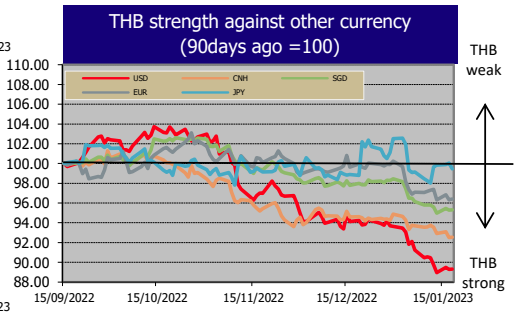


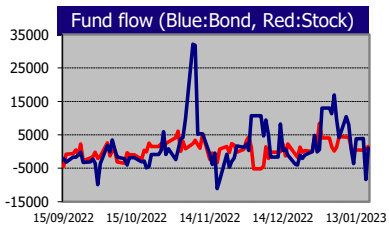


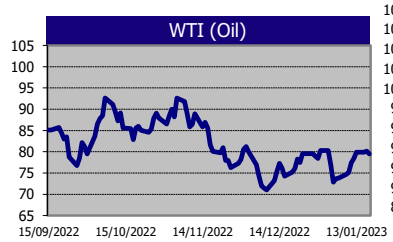












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

・昨日のドルバーツは33バーツちょうど付近からスタートし、同水準を挟んで上下する展開。序盤、注目された日銀金融政策決定会合にてイールドカーブコントロール(YCC)をはじめとした金融政策の現状維持が決定されたことが確認されると、ドル円が急騰。それが波及する格好で全般的にドル高地合いとなる中、ドルバーツも33バーツ台前半まで上昇した。ただ、将来的な金融緩和政策の変更観測も根強く残る中、上昇の勢いは継続せず、バンコク時間午後には下落に転じ、33バーツを割り込んだ。海外時間に入り、米経済指標の軟調な結果や、米金利の低下を受け、ドルバーツも32バーツ台後半まで下落。終盤にかけてはFed高官の金融政策を巡る発言や、米株の軟調な推移を受け景気後退懸念が意識される中、ドルが買い戻され、ドルバーツはオープンと同水準となる33バーツちょうど付近まで値を戻し、結局33.01レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上に往って来いの展開。128円台前半でスタートしたドル円は、日銀金融政策決定会合の結果発表を控え仲値にかけてドル買優勢地合いとなり、一時129円ちょうど付近まで上昇。注目された日銀会合では金融政策の現状維持が公表され円安が進行すると、ドル円は一時131円台半ば付近まで上昇した。ただし、その後開かれた黒田総裁の会見にてYCCは持続可能であるとの考えや、長期金利変動幅の拡大については否定的な見方が出る中においても、将来的な金融政策正常化の可能性が引き続き意識され、ドル円は下落に転じた。また、海外時間における米経済指標の軟調な結果や米金利の低下もあり、ドル円は一時127円台後半まで下落。ただ、終盤にかけてはドルが買い戻される展開に値を戻し、結局128.90レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、注目された日銀金融政策決定会合において、金融政策の現状維持が決定されました。事前予想では、12月に続いて長期金利の許容変動幅拡大を予想する声もあったことから、発表後、ドル円は一時3円超の円安となりました。日銀は、12月に実施した長期金利許容変動幅拡大が金融緩和政策の出口の一歩と捉えられることに否定的であるため、こうした見方が強化されることにつながりかねない決定を今回は避けたものと考えます。一方、日銀によるイールドカーブコントロール(YCC)によって長期金利は市場実勢を大きく下回る水準に抑え込まれており、技術的にもYCCの維持は難しくなっていると言われています。また同時に発表された展望レポートでは、消費者物価指数見通し(除く生鮮食品、対前年比)が、2022年度+3.0%(前回10月時点見通し+2.9%)、2023年度+1.6%(同+1.6%)、2024年度+1.8%(同+1.6%)と概ね上方修正されています。昨日については長期金利も低下しましたが、引き続き方向感としては円金利上昇であり、海外金利が低下基調にある中において、円は買われやすい展開が続くものと考えます。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.